徳島大学
Tokushima University Faculty of Medicine
医学部だより
第44号 2022.4.1

新入生の皆さんへ

医学部長　西　岡　安　彦

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の波が繰り返す中での受験勉強を無事乗り越え、徳島大学医学部での大学生活に夢を膨らませていることと思います。医学部では、皆さんの学生生活がより充実したものとなるよう様々な工夫を凝らしたカリキュラムや支援体制を整えています。今後もウィズコロナの時代が続くことが予想されますが、COVID-19の感染状況下でも十分な講義を提供できるよう遠隔授業（e-learning）の体制を整え、大人数の講義に加えて少人数のグループで行う授業に対しても効率的な遠隔授業を進めています。一方で、対面での実施が必要不可欠な臨床実習などでは、きめ細かな感染対策を講じながら大学病院と協力してできるだけ現場からの学びができるよう臨機応変に対応しています。

徳島における医育機関の歴史は古く、1870年に関寛斎先生の功績により設立された「徳島藩立医学校」に端を発します。徳島大学医学部は、1943年に「徳島県立徳島医学専門学校」として設立され、1949年に四国で唯一の国立大学医学部となっています。新入生の皆さんはこのような伝統のある医学部で学ぶことに自信と誇りを持って学修に励んでください。

医学科では、入学後の早い時期に医師が働く現場に出向くSIH 道場基礎臨床早期体験実習が組まれており、緊張感のある現場を体験し将来をより身近にイメージすることで学習意欲の向上に繋げることができます。一方で医師として深く考え論理的に診療を進めることは重要で、そのために必要なリサーチマインドの涵養を目指し研究に触れる機会を数多く設けています。入学後から参加できる「Student Lab」や３年次の「医学研究実習」（研究室配属）がその代表です。これらの経験はその後に予定されている臨床医学の講義や最新の設備を備えた大学病院での臨床実習の場でも活かすことができると思います。

医科栄養学科では、国立大学法人で唯一の医学部にある栄養学科として高度な栄養学を担う管理栄養士、栄養学研究者・教育者の養成を目指しています。医学の基礎から始まり、栄養学の基礎、実習など大学病院との連携で進める教育カリキュラムを整備しています。

保健学科は、看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻の３専攻があり、医療現場でチーム医療の担い手となる看護師、保健師、助産師、診療放射線技師、臨床検査技師の養成を目指しています。科学性と倫理性を基盤にしたスペシャリストの育成を目指し、それぞれの専門職に応じて充実したカリキュラムを整えています。

３学科ともにグローバル教育にも力を注いでおり、海外に複数ある協定校での短期留学による交流を進めています。COVID-19感染状況にも左右されますが国際的視野を養う場として積極的に挑戦してほしいと思います。

また、最近の医療現場は患者さんのニーズや医療の高度化・専門化により多様化、複雑化しています。このような現代の医療現場に対応していくためには、専門的な医学知識や高度な医療技術を習得することに加え、「人間力」を高めることが不可欠です。ぜひ学生時代には､時間を有効に使ってサークル活動、部活動、ボランティア活動、友人との交流に時間を費やしてみてください。これらの活動により自然に社会人として求められる能力、すなわち「人間力」を養うことができると思います。医学部が位置する蔵本キャンパス内には、歯学部、薬学部、先端酵素学研究所があり、同じ生命科学に関係する他学部の学生との交流も容易です。

新入生の皆さんが、この徳島大学医学部で有意義な学生生活を送り、次世代の医療界を支える医療人へと成長していくことを心から願っています。

目次 CONTENTS

巻頭言……1
新入生の皆様へ……2
先輩から医学部紹介……4
学友会活動……5
医学部行事予定……5
令和３年度のコロナ禍対応について……6
海外発表を契機に世界へ羽ばたこう！……6
徳島医学会報告……7
第68回徳島大学解剖体慰霊祭……7
オンライン留学体験記……8
新任教職員ご挨拶……9
新任准教授紹介……9
退職者ご挨拶……9
数字で見る医学部……10
白衣授与・Student Doctor 認定証授与式……11
受賞者紹介（教員）……11
受賞者紹介（学生）……12
編集後記……12

医学科新入生の皆様へ

医学科長　橋　本　一　郎

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。難関の受験を突破して、晴れて本学の医学生として大学生活を始めることにお祝いを申し上げます。コロナ禍において学習環境が整わない中での受験は大変だったのではと想像します。残念ながら大学での生活もしばらくはコロナ感染症状況に合わせたものになります。私達も２年間で遠隔授業等にも慣れていますので、心配なく大学生活を始めてください。

医学科の教育課程は、基礎医学教育と臨床医学教育に大きく分かれます。内科や外科といった診療や医療について学ぶのが臨床医学教育です。この臨床医学を学ぶ上で非常に大切なのが基礎医学であり、医師が他の医療関係者と比べて大きく違うのが、この基礎医学に関する知識の深さです。本学医学科では、基礎医学と臨床医学に関して講義室での授業だけでなく、様々な工夫をして学習の手助けを行なっています。希望者は研究サークル活動である Lab 部で基礎医学研究が可能で、MD-PhD コースに進学して卒業前に医学博士を取得することもできます。医学研究実習では好きな研究室を選んで医学研究を行います。臨床医学に進むと、症例シナリオを使用して自己決定型学習を行う PBL チュートリアルが用意されています。医学生にとって、医学学習は最も大切なことですが、大学時代は人間性を形成する大切な時期でもあります。クラブ活動やサークル活動を行ったり、趣味を深めたり、また新しいことに挑戦するのも良いでしょう。無限の可能性を秘めた皆様の過ごす６年間が、有意義であることを心から願っております。

医科栄養学科新入生の皆様へ

医科栄養学科長　酒　井　　徹

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。長かった受験勉強を終え、新たなスタートの節目を迎えている時期かと思います。全国の管理栄養士養成施設は150校を超えています。数多い大学の中から、皆さんは徳島大学医学部医科栄養学科を選んだことになります。医科栄養学科棟の入り口付近で“食律生命”と記された文字が目に入ります。これは、栄養学科設立で尽力された児玉桂三学長が記されたもので、食は生命や健康の根幹であることを説いたもので、栄養学を学ぶこと、栄養学研究の重要性を示したものです。管理栄養士制度は昭和37年に創設され、本学栄養学科は新制度と共に誕生した歴史がある学校です。徳島は地方の小さな都市ですが、皆さんに栄養学を教えてくれる先生方は栄養学分野において著名な方です。栄養学の教科書でも多くの先生方の名を目にすることも多いと思います。このように書くと遠い存在の印象を与えてしまいますが、ここの教員は非常にフランクに接してくれますので、何か尋ねたいことがありましたら気軽に声をかけてください。新型コロナウイルス感染症のためほぼ２年間は講義、実習および課外活動が制限された生活が強いられた状況が続いています。この医学部だよりが皆様の手元に届いている頃には、従来の日常生活が復活する見込みがついていることを願っています。

保健学科新入生の皆様へ

保健学科長　安　井　敏　之

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。保健学科の教員ならびに在校生一同、ご入学を心より歓迎いたします。この２年間は新型コロナウイルス感染が蔓延する大変な状況の中で勉学に励まれてきたことと思います。今は、うれしさや期待と共に感染状況が続く中で不安もあり、複雑な気持ちをもたれているかもしれません。私たち教員は安心して大学生活が送ることができる様にサポートをしていきたいと考えています。不安なことや心配なことがあれば、遠慮なく相談してください。

蔵本キャンパスには、医学部、歯学部、薬学部と医療系の３学部があり、将来、医療系の様々な分野で活躍する学生さんが集まっています。医学部には医学科、医科栄養学科、保健学科の３学科があり、保健学科には、看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻の3専攻があります。学ぶ内容はそれぞれの学部、学科、専攻で異なりますが、将来は医療人として１つのチームです。勉強とともに、サークル活動などを通して、いろんな学部、学科、専攻の学生さんと触れ合う機会を持ち、お互いの考えを聞き、チーム医療の基本を学んでください。保健学科棟は大学病院の隣に位置し、実習も大学病院が中心です。臨場感あふれる場所での学習は良い刺激となり、モチベーションにもつながるでしょう。また、感染が収束していないため十分な国際交流を進めることはできませんが、日本と異なった文化や考え方を知ることも重要であり、ぜひオンライン留学などチャンスを生かして国際的視野を広げてください。また、遠隔授業が行われると思いますが、感染が収束すれば眉山が見えるこの学び舎に来て充実した大学生活を送られることを心より期待しています。

新入生の皆さんへ

医学科４年次　福田　翔一

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは新型コロナウイルス感染症の影響で楽しいことは少なく、その上我慢を強いられることが多かったのではないかと思います。しかし、大学生となった今は高校生の時より自由な時間が多くなるので、様々な選択の上で大学生活を過ごしていく事になります。勉学を極める、新しい趣味を始める、アルバイト、部活動・サークル活動、研究に挑戦するなど多岐に渡ります。その選択の際に、後悔の少ない選択をしてほしいと思っています。

大学での勉強は高校の時とは違い、自分で（あるいは友達と）主体的に学んでいく事が重要だと思います。「学校の先生に言われればちゃんとやれる」という人も少なくないですが、そんなことを言ってくれる大学の先生は残念ながらほとんどいないと考えて下さい。“自分で”手帳など活用して締切に遅れないようにして下さい。

また、大学には様々なバックグラウンドを持った人がたくさん集まってきています。学生にしろ、教員にしろ、多くの人との交流をすれば新しいものの見方が得られるはずです。殻を破って様々な人脈を作り、自分磨きを進めていって下さい。

最後になりますが、何かしようと迷うくらいなら取り敢えず挑戦をして下さい。その挑戦が意外にも良い結果をもたらすかもしれません。皆さんの生活を彩る活動を見つけ、楽しい大学生活を過ごしましょう！本当にご入学おめでとうございます！

医科栄養学科４年次　関本　大介

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはこれまでの新型感染症の流行を受けて何を感じているでしょうか。受験勉強や部活動、イベント行事など様々な場面で苦労してきたことと思います。私自身も大学生活の中で大きな影響を受け、多くのことを考える機会となりました。

さて、皆さんは人生が変わるような経験をしたことがありますか？皆さんの将来の目標はどのように決めましたか？有名人の言葉や、身近な人との体験など、人によってさまざまだと思います。しかし、そこには必ず人との関わりがあったと思います。

私は皆さんに人と接することの大切さを伝えたいと思います。私が大学に入学して意識したことは、たくさんの人と接することでした。大学では、多くの地域から人が集まり、年齢も様々です。当然、考え方や捉え方が違う人もいますが、そこには必ず学びがありました。

しかし、新型感染症の影響で人と接することが制限され、人と関わることが極端に少なくなりました。当然学びの機会も失われ、私は孤独感を感じるようになりました。この時に改めてお互いに支えあっているということを痛感しました。

将来の目標は、自分で経験したことの中からしか生まれません。その経験のほとんどは人と接することによって生まれます。将来、「もっとこんな経験していればよかった。」と後悔することが無いように、精一杯色々な経験を積み、たくさんの人と関わってください。いつか皆さんと話せることを楽しみにしています。

保健学科看護学専攻４年次　村田　桃香

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に思いを馳せ、新しい門出に胸を躍らせていることと思います。本専攻では、4年間の勉強を通して看護師の資格を始め、保健師、養護教諭、さらには大学院では助産師の資格を得ることができます。また、実習などを通して、看護者として高い専門性を身に付けることもできます。一方で、授業や実習などで忙しい時期もあったり、コロナ禍であることもあいまり、不安や戸惑うこともあると思います。困った時はぜひ教員や周りの人を頼ってください。大学生活は、みなさんが思っている以上にあっという間に過ぎていきます。学生生活を実りあるものにするためにも、勉学だけでなく部活動やアルバイトなど、新しいことにも進んで挑戦し、充実した学生生活を謳歌してください。

保健学科放射線技術科学専攻４年次　小西　涼太

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。受験も終わりほっとすると同時に、これからの大学生活に思いを馳せ、夢と期待に胸を膨らませていることと思います。

本専攻では、１，２年生のうちは比較的自分の時間をとることができるカリキュラムとなっています。特に一年生のうちは他学部や他学科との合同の授業もあり、交友関係を広げる最大のチャンスです。新型コロナウイルスの影響で、先の見えない自粛生活がこの先も続いていくと予想されます。しかし、最近は規制付きではありますがある程度のレジャーは楽しめる世の中になってきたと思います。コロナ禍を言い訳にすることなく、やりたい、興味あると思ったら、決められたルールの中で楽しみ、チャレンジすることで人として成長することのできるとても充実したキャンパスライフを送れると思います。

皆さんが素晴らしい４年間を過ごせることを心より願っております。

保健学科検査技術科学専攻４年次　大和田　陽菜

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

検査技術科学専攻では、１年は常三島キャンパスでの一般教養科目が主で自由な時間が多いですが、学年が上がるにつれて専門科目や実習が主になり忙しくなっていき、自分の時間をつくるのが大変になっていきます。新型コロナウイルスの影響を含め新生活に不安があるとは思いますが、これからの大学生活は楽しく、一瞬で過ぎ去ってしまいます。勉学だけでなくアルバイトやサークル活動を一緒に楽しんで頑張っていきましょう！皆さんの大学生活が充実したものになることを祈っています。

先輩から医学部紹介

新入生のみなさんご入学おめでとうございます

講義について

医学科４年次　家　氏　敬　人

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

私からは１年生の講義について説明させていただきます。

１年生の講義には大きく分けて２種類あり、教養科目と専門科目があります。

教養科目には「歴史と文化」、「生活と科学」といった分野を学ぶいわゆる一般教養があります。また、高校の時に履修していない科目の知識を加える為の基礎基盤教育科目群もあります。さらに英語はもちろん、中国語やフランス語、ドイツ語を学ぶ外国語教育科目群があります。専門科目では、医学科を例にあげますと、「生理学」や「生化学」に、「細胞生物学」を学びます。これらは２年次に非常に活きてくる科目になりますので、特に力を入れるべきだと思います。

詳しくは、私が所属する医学部ゴルフ部をはじめとした部活動に所属する者が教えさせていただきますので、是非ともオンライン新歓をはじめとする行事に参加して、私をはじめとする先輩方に聞いてもらえれば懇意丁寧にお教えしたいと思います。

最後になりますが、大学生は高校生の時迄に比べると、圧倒的に自由です。

授業は自分で選択できるし、いつ学ぶのか、いつ休むのかも選択できます。課外活動も自ら選択でき、頑張る、サボる、本当に人それぞれで自由です。

しかしながら、大学卒業後に就職して社会に出たときに悔いのない学生生活だったと胸を張って言えるように最善の選択をしていきたいものです。皆さんの活躍をお祈りしております。

部活動・サークル活動について

医科栄養学科４年次　勢　川　怜　花

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私からは部活動・サークル活動について紹介します。

徳島大学の蔵本･常三島キャンパスには多くの部活動･サークル活動があり、蔵本キャンパスの学生が常三島キャンパスの活動に参加することも可能となっています。そのため、所属することで他学科の方と知り合うきっかけができ、交友関係を広げることができます。また、大学では高校や中学の部活動とは異なり、イベントや試合の運営を学生が主体となって行うため、同級生を始め、先輩や後輩たちとも仲良くなることができます。さらに同じ学科の先輩から授業についてアドバイスなどももらうことができます。

どの部活動・サークル活動に入ろうか悩んでいる人は、まず興味を持った部活動・サークル活動が行っている新歓イベントに参加してみましょう！例年、イベントは対面で行われますが、ここ２年間は zoom などを使ったオンラインで開催していることが多かったです。どの部活動・サークル活動もわかりやすく、工夫を凝らした紹介となっています。活動内容や活動時間など新入生の皆さんが気になっていることを何でも先輩に聞ける場となっていますので、たくさんのご参加お待ちしております！また、活動をしている場合は実際に様子を見学することもできます。気になる部活動・サークル活動を見学してみて、自分に合った部活動・サークル活動を見つけてください。

皆さんが充実した楽しい大学生活を送ることができるよう願っております。

大学生協について

保健学科検査技術科学専攻４年次　野　中　　蓮

　新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私からは徳島大学生協について紹介させていただきます。
　蔵本キャンパスに大学生協が運営する店舗は、本や文房具を取り扱う「SHOKO-LA（しょこら）」、カフェテリアの「KURA-LA（くらら）」、コンビニの「LUCK-LA（らくら）」、そして食堂の「キッチン SAKU-LA（さくら）」の四店舗があります。
　「しょこら」は、授業や実験で使用するペンやレポート用紙、白衣などがあります。また、毎年年度初めには 教科書を生協カードで割引購入ができます。「らくら」では、様々な種類のお菓子やジュース、お弁当があります。食堂の横に位置するので、ご飯後のおやつやジュースを買ったりしています。「くらら」では、多種類のあたたかいお弁当やサラダ、おやつ、お弁当にもう一品できる小さなおかずがあります。私は、白いカレーとビネガードリンクが好きです。最後に食堂の「さくら」では、美味しくてあたたかいご飯がすぐ食べられます。食堂の料理は、栄養バランスを考えて作られているので、一人暮らしの学生の大きな味方です。毎月のフェアがあり、学生を飽きさせないような工夫がなされています。九州フェアや北海道フェアなど様々なフェアが月替わりで、その地域で有名な料理や、四季を感じられる料理などが登場します。私は、台湾まぜそばとサーモンユッケ丼が特にお気に入りです。皆さんもお気に入りのメニューを見つけてみてください。きっと食事が楽しくなると思います。

学友会活動

●運動部

	クラブ名	助言･指導教員
1	水上競技部(男女)	内田　貴之
2	弓道部(男女)	秦　広樹
3	硬式野球部	橋本　一郎
4	柔道部	和泉　唯信
5	空手道部(男女)	和泉　唯信
6	卓球部(男女)	西岡　安彦
7	バドミントン部(男女)	西岡　安彦
8	サッカー部	髙橋　章
9	ゴルフ部(男女)	橋本　一郎

	クラブ名	助言･指導教員
10	バスケットボール部(男女)	吉川　幸造
11	合気道部(男女)	岩佐　武
12	硬式庭球部(男女)	髙木　康志
13	軟式庭球部(男女)	森　健治
14	陸上競技部(男女)	米村　重信
15	準硬式野球部	島田　光生
16	ラグビー部	鶴尾　吉宏
17	剣道部(男女)	久保　宜明
18	バレーボール部(男女)	岡久　稔也

●文化部

	クラブ名	助言･指導教員
1	軽音楽部	橋本　一郎
2	茶道部	竹谷　豊
3	地域医療研究会	谷　憲治
4	栄養学研究部	酒井　徹
5	外国語研究会	安倍　正博
6	室内楽同好会	赤池　雅史
7	TIFMSA(徳島国際医学生連盟)	赤池　雅史
8	先端医療研究会	佐田　政隆
9	IAHSS(保健学科国際交流サークル)	田中　祐子

※入部等のお問合せについては、医学部学務課学生係(☎088−633−7982)へご連絡ください。

医学部行事予定（令和４年４月～令和４年９月）　※変更となる可能性があります

４月１日㈮～８日㈮
　医学部新入生オリエンテーション
　SIH 道場～アクティブ・ラーニング～
　（医学科、医科栄養学科、保健学科）
４月８日㈮～５月２日㈪
　学生定期健康診断
４月11日㈪　新入生授業開始
　（医学科、医科栄養学科、保健学科）

５月実施　遺骨返還・感謝状贈呈式
８月～　西日本医科学生総合体育大会（主管：浜松医科大学）
８月実施　徳島大学オープンキャンパス（学部説明会）

令和３年度のコロナ禍対応について

医療教育学分野　教授　赤　池　雅　史

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが２年を超えました。医学部は徳島大学病院と隣接し､病院実習を行うことから、厳格な感染対策が求められています。このような状況下、ワクチン接種を希望する学生には、医療従事者枠接種や職域集団接種等の機会を提供してきました。また、学外臨床実習施設からCOVID-19検査を求められた場合は、検査費用を医学部が負担する等の支援を行っています。さらに感染対策は将来医療人となる者にとって必須事項であることから、その教育を行うとともに、発熱・体調不良時には学生への個別対応・支援も行っています。

授業の多くはオンラインで行われ、対面実施も収容率50%未満としています。このオンライン手法はここ２年間で急速に普及し、PBL チュートリアル、グループワーク、面談、会議等でも広く活用されています。オンライン授業に関する学生対象アンケートでは、繰り返し視聴できる、対面と同等もしくはそれ以上に討論できる等、肯定的な意見が多数を占め、成績もコロナ禍以前と比べて遜色がありません。さらに、オンライン手法は場所の確保や移動が不要なため、複数の学部学科の合同授業､海外を含めた学外講師による授業にも活用されています。一方、実習や研究室配属・卒業研究についてはできる限り対面で実施する方針ですが、感染拡大によって徳島大学病院での実習は患者さんとの接触が制限されたり、約３割がオンラインとなる等の影響が出ています。これに対してはスキルスラボの設備を充実させ、オンライン医療面接実習やシミュレータによる手技練習で代替する等の対応も行っています。

オンライン教育がいくら普及しても、他者との関わりの中で学ぶことの重要性にはかわりはありません。医学部では、これまでに蓄積した感染対策のノウハウを駆使して対面教育の機会を確保するとともに、オンライン教育の良さも活かしながら、教育の質の向上に取り組んでいきたいと思います。

海外発表を契機に世界へ羽ばたこう！

NPO法人徳島医学研究・教育支援機構（NPO-SOMRET）理事長
徳島大学名誉教授　曽　根　三　郎

国立大学法人徳島大学が誕生した2004年当時、医学部長在任中に感じたのは、外部資金をしっかり集めて研究活動を展開しなければ大学間競争に勝ち残れないという思いがあった。医学部／病院は「研究あっての教育、研究あっての診療」という認識を強くし、若手研究者を育てようと教授有志が集まって設立したのが NPO-SOMRET です。私事になりますが、学生時代は30歳までに米国へ留学と心に誓い、時間を見つけては解剖学、病理学のラボに出入りし，先輩の実験手伝いをしながら研究の ABC を学び、手打ちの英文タイプライターを買い込みブラインドタッチでの早打ちを習得。また、徳大に来られていたフィリピンの産婦人科医の病院で３週間ホームステイも経験した。卒後は新設２年目の第三内科（現 呼吸器・膠原病内科）に入局し、留学のためにカルテと論文はすべて英語で書くぞと決意し、下手な英語も「学ぶより慣れよ」の意気込みでチャレンジした。初期研修医制度もない当時、すぐに臨床研究に取り組み、卒後２年目に螺良英郎教授に連れられての国際免疫学会参加は一流研究者との出会いや学問の雰囲気が体感でき、留学モチベーションもさらに高まったことを思い出す。念願の米国留学は30歳７か月目に初志貫徹でき、がん転移研究のパイオニア、IJ Fidler 博士（NCI Frederic がんセンター）との出会いはその後の私の人生で大きな転機となり、まさに邂逅であった。当法人 SOMRET が支援する海外発表奨励賞を活用し、世界へ羽ばたく契機として素晴らしいチャレンジと新しい出会いを楽しんで欲しいと念願しています。

徳島医学会報告

■ 第264回徳島医学会学術集会（令和３年度冬期）

予防医学分野　教授　有　澤　孝　吉
運動機能外科学分野　教授　西　良　浩　一

第264回徳島医学会学術集会は、令和４年２月20日（日）に徳島県医師会館を会場に開催された。今回の大学側の担当は、予防医学分野　有澤 孝吉教授、運動機能外科学分野　西良 浩一教授が務めた。前回と同様に、新型コロナウイルスCOVID-19の感染対策を講じての開催となった。対面形式のポスター発表は行わず、講演は、十分な感染対策のうえ、県医師会のネットワークを通じたWeb配信とした。ポスター（音声入り）は、オンデマンド形式でホームページ上に２週間公開し、徳島医学会賞および若手奨励賞の審査を行うこととした。会場では、教授就任記念講演として、地域看護学分野　岡久 玲子教授による「ストレングスに焦点を当てた生活習慣病予防の取り組み」、臨床神経科学分野　和泉 唯信教授による「筋萎縮性側索硬化症（ALS）病態解明･治療法開発への試み」、実践地域診療・医科学分野　添木 武特任教授による「心房細動の新しい診断・治療法の開発を目指して」をご講演いただいた。赤池 雅史医学部長、齋藤 義郎県医師会長のご挨拶の後、第47回徳島医学会賞及び第26回若手奨励賞授与式が行われ、引き続いて徳島医学会賞受賞記念講演として、徳島大学病院小児科の岡田 朝美先生による「循環血中遊離DNAを用いた膵β細胞傷害の新規検出法の確立」、医療法人平成博愛会博愛記念病院の元木 由美先生による「COVID-19治療後患者に対する廃用リハビリテーションの重要性」をご講演いただいた。続いて、公開シンポジウム「徳島県民が知っておくべき予防医学　～病気にならないための秘訣～」では、徳島大学大学院医歯薬学研究部代謝栄養学分野からは阪上 浩教授に「肥満から読み解く高齢者の栄養の問題点と管理」を、血液・内分泌代謝内科学分野からは吉田 守美子准教授に「糖尿病とメタボリックシンドロームの予防」をご講演いただき、また実践地域医療・医科学分野からは粟飯原 賢一特任教授に「動脈硬化から見た予防医学（アンチエイジングとウエルエイジング）」をご講演いただいた。さらに徳島大学病院　リハビリテーション部からは佐藤 紀特任講師に「骨粗鬆症からみたロコモの予防」を、徳島大学大学院医歯薬学研究部地域運動器・スポーツ医学講座からは藤谷 順三特任講師に「ピラティス：モーターコントロールで運動器疾患予防」をご講演いただいた。以上、徳島県で行われている最先端の医学研究やCOVID-19感染症に対する医療活動、および徳島県の特徴をふまえた疾病予防対策等について、学ぶことが多い学会であった。

本学術集会の開催にあたり、徳島県医師会、徳島医学会事務局、関係スタッフの皆様およびご参加、ご協力いただいた関係の皆様に、心より感謝申し上げます。

（文責：予防医学分野　講師　釜野 桜子）

第68回 徳島大学解剖体慰霊祭

蔵本事務部医学部学務課

令和３年12月15日（水）15時から徳島大学大塚講堂において、第68回徳島大学解剖体慰霊祭が開催され、御遺族、白菊会会員、医学部・歯学部・病院教職員、学生等関係者約220人が参列いたしました。献体者の霊に黙祷を捧げた後、医学部長、歯学部長をはじめとする関係者が追悼の辞を述べ、その後参列者全員が祭壇に白菊を献花し、系統解剖、病理解剖のために献体してくださった方々の亡き御霊6672柱の御冥福をお祈りしました。献体運動等の活動により献体に対する世間の理解が、ますます深まってきております。今後も引き続き献体に対するご理解とご協力をお願いいたします。

オンライン留学体験記

南イリノイ大学

医学科２年次　大　野　純　佳

留学には行ってみたいけれどいきなり現地に行くのは少し不安だと感じていた私は、感染症が流行している今ならではのオンライン留学の手軽さに魅力を感じ、参加してみることにしました。私のクラスはメンバーのレベルが高く、日本国籍以外の様々な国の方々も参加していましたが、皆英語が流暢で驚きました。初めはその周りの雰囲気に圧倒され、なかなか自分の意見を発言できず、クラスメンバーたちの議論についていくのに必死でした。しかし、あるメンバーから、「日本人のあなたたちはいつも指名されるまで発言しないで待っている。なぜ日本人は自分の意見を自分から言おうとしないのか？」と言われました。この時私は自分の受動的な態度に気づいたと同時に、日本人とその他の国の国民性や姿勢の違いなども感じました。そこから英語の文法が多少間違っていてもとりあえず発言するように心がけていると、拙くても先生やメンバーは私の意見を理解しようとしてくれたこともあり、だんだん堂々と英語で思いを伝えられるようになっていきました。この1か月という短い期間を通して、英語が流暢になったわけではなく、英語で話すことが恥ずかしいという気持ちがなくなり、自ら話そうという姿勢を身に着けることができたように思います。また、現地にこそ行っていませんが、様々な人との交流を通して異文化をたくさん感じることができたので、本当に参加して良かったと感じています。いつか海外に行けるようになったときに、必ずこのオンライン留学での経験を活かしてもっと自分の英語の力を向上できると感じています。この留学を支えてくださった方々、クラスのメンバーに心より感謝申し上げます。

医学科２年次　塚　田　さ　ら

１年生の夏休みの4週間、南イリノイ大学のオンライン留学に参加させていただきました。

オンラインでの留学になりましたが、よかった点もありました。グループワークでは、内紛中のアフガニスタン人や、タイの会社でインターンをしている日本に住んでいる中国人など、いろいろな国や専攻の人と授業を受けることができました。また、オンラインだったので、学校の試験に重なっていても大丈夫でした。

自分の知らない世界を知ることや未知の体験をすることは、とても楽しいと感じています。海外大学での学校生活についての話を聞いたことで、留学に今まで以上に興味を持ち、英語学習の原動力にもなりました。

上級生では研究留学にも参加ができると聞いたので、まずはそこを目指して英語の勉強に励みたいです。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

医科栄養学科４年次　濵　宮　菜々子

今回のオンライン留学には、英語に触れる機会を増やしたいという思いで参加させていただきました。以前もSIUオンライン留学に参加しましたが、文法などそれまでに習っていた内容を英語で学ぶという授業でした。今回は英語の記事を読み、要約したり、その内容についてクラスメイトと議論したりしました。言語としての英語の学習ではなく、英語を用いて一つの課題について考えを共有するという、私のイメージする外国の授業を受けることができた気がします。その中で質問に対して私の考えを述べることが難しかったです。これは英語の使い方の問題ではなく、はっきりとした自分の意見を持っていないことが原因でした。自分を見つめる機会になったと同時に様々な意見を聞くことができ、楽しかったです。貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

医科栄養学科２年次　横　田　小　夏

夏休みの間、南イリノイ大学のオンライン留学に参加させていただきました。オンライン授業では文法、長文読解、発音、リスニングなどの幅広い学習を通して毎日英語に触れ、英語をとても身近なものに感じることができました。また、授業中に英語で先生や他の生徒と話す時間も多く、スピーキングの練習をしながら海外の生活や文化なども学びました。１か月間英語を使って授業に参加したことで、英語を話すことにためらいがなくなり、上手く話せなくても自分の言葉で相手に伝えようとする姿勢が身についたように思います。何よりも英語でコミュニケーションをとることの楽しさに気づけたことは、今後の英語学習への意欲につながる良い経験になりました。

最後にこのような貴重な機会を与えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

新 任 教 職 員 ご 挨 拶

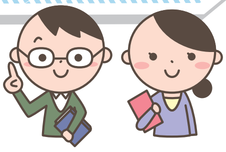
精神医学分野　教授　沼　田　周　助

令和３年10月１日付けで精神医学分野の教授を拝命いたしました。私の専門は統合失調症と気分障害と認知症です。精神疾患は国の定める五大疾病の一つであり、社会における精神科医師の診療の役割と責務は非常に大きいと考えております。大学病院ではエキスパート（専門医）による最先端の医療を提供し、徳島県の精神医療の拠点として地域医療へ貢献してまいります。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

地域医療人材育成分野　特任教授　八　木　秀　介

令和３年11月１日付けで地域医療人材育成分野・特任教授を拝命いたしました。私は愛媛大学卒業後、徳島大学旧第一内科に入局し、国立循環器病研究センター・米国ロチェスター大学・徳島大学病院にて循環器内科医として研鑽を積んでまいりました。心血管から全身を、全身から心血管を診る、全人的な総合診療を行うことを目標としております。当寄付講座は、愛媛県四国中央病院にて医学の実践教育を行い、患者さんに寄り添った最高水準の治療を提供できる人材の育成を目指しております。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新任准教授紹介



異動年月日	異動内容	氏名	所属
Ｒ３.10.１	採用	原　田　武　志	血液・内分泌代謝内科学
Ｒ３.10.１	採用	合　田　光　寛	臨床薬理学
Ｒ３.10.１	昇任	長谷川　一　宏	腎臓内科学
Ｒ３.10.１	昇任	鳥　羽　博　明	胸部・内分泌・腫瘍外科学
Ｒ３.10.１	昇任	角　田　奈　美	麻酔・疼痛治療医学
Ｒ３.11.１	昇任	中　瀧　理　仁	精神医学
Ｒ４.１.１	昇任	宮　本　弘　志	消化器内科学

退 職 者 ご 挨 拶

耳鼻咽喉科学分野　教授　武　田　憲　昭

令和４年３月31日をもって耳鼻咽喉科学分野教授を定年退職いたします。平成11年12月１日に赴任して以来、22年４か月の間、大変お世話になりました。私は教育、研究、臨床の責任を果たし、耳鼻咽喉科学教室を発展させるために努力してきました。幸い優秀な人材に恵まれ、オリジナルな研究と特色ある医療を行うことができました。医学部の皆さまの長年のご厚情とご支援に心から感謝申し上げます。今後も変わりなく、耳鼻咽喉科学分野へのご支援を賜りますようお願いいたします。徳島大学医学部の益々の発展を祈念して、退職の挨拶とさせていただきます。

女性の健康支援看護学分野　教授　岸　田　佐　智

令和４年３月31日をもちまして、定年退職いたしました。徳島大学に縁あって、平成18年４月に赴任し、16年間、教育研究の職に就かせて頂き、本当にありがとうございました。赴任時は、保健学科看護学専攻の第１期生が卒業直後で、その後修士・博士課程の新設と、看護学の教育研究体系が作られていく場に居合わせたことも幸いでした。その過程では、他の学問領域の先生方と接触する機会も多く、議論を進める中で看護の独自性を追求することもできました。看護は、実践と研究、教育とかけ離れては意味をなさないと思います。ケアの対象である人を忘れることなく，今後も医療チームや他分野領域との連携が強化され、医学部のさらなる発展をお祈りしております。

蔵本事務部長　木　虎　　章

令和４年３月末をもちまして、定年退職いたします。昭和63年12月に歯学部総務課に採用されてから33年４ヶ月の間、徳島大学で勤務することができました。採用されたころはパソコンもまだ十分に普及しておらず、すべて手書きで書類を作成していたことを懐かしく思います。現在は遠隔授業ができるまでＩＴが目覚ましく発達したことに時代の変遷を感じずにはおれません。また、在職中とりわけ印象に残っているのは、2019年に新設されたモンゴル国初の大学病院の運営支援の一端を担ったことです。日本とは違う極寒の世界、異文化に触れ海外に出て視野を広げる大切さを今更ながら痛感いたしました。

最後になりましたが、お世話になった教職員の皆様、その時々に適切なご指導、ご支援を賜り充実した日々を過ごすことができましたことを心より感謝申し上げます。長い間、ありがとうございました。

数字で見る医学部 ～令和４年３月 卒業者の進路状況～

Ｒ４.３現在

医学科

進路先	合計
JA 徳島厚生連吉野川医療センター	2
愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	1
青州会病院	1
明石医療センター	1
赤穂中央病院	1
淡海医療センター	1
一般財団法人住友病院	1
大阪市立総合医療センター	2
大阪大学病院	1
岡山協立病院	1
鹿児島大学病院	1
川崎協同病院	1
関越病院	1
北播磨総合医療センター	2
京都第一赤十字病院	1
京都府立医科大学附属病院	2
京都府立医科大学附属北部医療センター	1
倉敷中央病院	1
公益財団法人甲南会 甲南医療センター	2
神戸市立西神戸医療センター	1
神戸赤十字病院	1
神戸大学附属病院	1
公立大学法人横浜市立大学附属病院	1
国際医療福祉大学　成田病院	1
国立国際医療研究センター病院	3
国立病院機構神戸医療センター	1
国立病院機構舞鶴医療センター	1
国家公務員共済組合連合会斗南病院	1
済生会栗橋病院	1
埼玉石心会病院	1
滋賀医科大学病院	1
静岡赤十字病院	1
自治医科大学附属病院	1
島田市立総合医療センター	1
市立川西病院	1
市立福知山市民病院	1
市立四日市病院	1
神鋼記念病院	2
製鉄記念広畑病院	1
総合犬山中央病院	1
高砂市民病院	1
高松赤十字病院	1
地域医療機能推進機構神戸中央病院	1
中部ろうさい病院	1
ツカザキ病院	1
筑波記念病院	1
東京女子医科大学東医療センター	1
東京高輪病院	1
東京都立駒込病院	1
徳島県鳴門病院	2
徳島県立中央病院	5
徳島市民病院	3
徳島赤十字病院	12
徳島大学病院	10
奈良県総合医療センター	1
西神戸医療センター	1
西宮市立中央病院	1
西淀病院	1
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	1
日本赤十字社高知赤十字病院	1
兵庫県立淡路医療センター	1
兵庫県立西宮病院	1
福岡徳州会病院	1
ベルラッド総合病院	1
松戸市立総合医療センター	1
名鉄病院	1
安佐市民病院	1
横浜市立大学附属市民総合医療センター	1
横浜市立みなと赤十字病院	1
小計	104
未定	17
小計	17
合計	121

医科栄養学科

進路先	合計
株式会社 nobitel	1
(医)平成博愛会　博愛記念病院	1
(医)松風会　江藤病院	1
大阪府済生会泉南医療福祉センター	1
金沢市職員	1
株式会社コメヤ薬局	1
株式会社ナリコマグループ商品企画部献立課	1
国立大学法人 徳島大学	1
西条市役所	1
社会福祉法人 恩賜財団 済生会今治病院	1
宝塚市職員（宝塚市立病院）	1
徳島県職員	1
日清医療食品株式会社	2
友栄食品興業株式会社	1
伊藤記念病院	1
医療社団法人ユニメディコ	1
株式会社中央	1
社会医療法人美杉会	1
神戸大山病院	1
大塚製薬工場株式会社	1
鳥取市職員	1
独立行政法人 地域医療機能推進機構 滋賀病院	1
小計	23
大学院進学	
徳島大学大学院医科栄養学研究科博士前期課程	21
徳島大学大学院医学研究科博士前期課程	1
小計	22
未定	4
小計	4
合計	49

保健学科：看護学専攻

進路先	合計
徳島大学病院	12
徳島県職員	6
岡山大学病院	5
徳島赤十字病院	3
徳島県病院局	2
香川大学医学部附属病院	2
愛媛大学医学部附属病院	2
大阪市立大学医学部附属病院	2
兵庫県立西宮病院	2
徳島健生病院	1
徳島県立中央病院	1
阿南医療センター	1
徳島市職員	1
明石市職員	1
大阪大学医学部附属病院	1
大阪府済生会泉尾病院	1
加古川中央市民病院	1
亀井病院	1
関西医科大学附属病院	1
関西労災病院	1
北播磨総合医療センター	1
九州大学	1
高知医療センター	1
高知県職員	1
神戸大学医学部附属病院	1
済生会滋賀県病院	1
静岡県立こども病院	1
鳥取市立病院	1
西神戸医療センター	1
西宮市職員	1
松江赤十字病院	1
松山市職員	1
枚方市職員	1
和歌山県臨時養護教諭待機	1
小計	61
大学院進学	
徳島大学大学院	10
神戸市看護大学大学院	1
小計	11
未定	1
小計	1
合計	73

保健学科：放射線技術科学専攻

進路先	合計
徳島大学病院	2
徳島赤十字病院	2
済生会和歌山病院	1
松山市民病院	1
近森病院	1
神戸大学医学部附属病院	1
和歌山労災病院	1
大阪府豊中市職員	1
中津市民病院	1
岡山中央病院	1
島根大学医学部附属病院	1
愛媛県職員	1
松山赤十字病院	1
国立病院機構東海北陸グループ	1
久留米大学病院	1
古賀総合病院	1
国立病院機構中四国グループ	1
横浜市立大学病院	1
小計	20
大学院進学	
徳島大学大学院	12
大阪大学大学院	2
小計	14
未定	4
小計	4
合計	38

保健学科：検査技術科学専攻

進路先	合計
徳島県職員	2
EP 綜合	1
星ヶ丘医療センター	1
高松市立みんなの病院	1
和歌山ろうさい病院	1
エイツーヘルスケア	1
徳島平成病院	1
和昌会　貞本病院	1
香川県厚生農業協同組合連合会 屋島総合病院	1
宝塚第一病院	1
日本赤十字社　高知赤十字病院	1
小計	12
大学院進学	
徳島大学大学院	4
大阪大学大学院	1
岡山大学大学院	1
小計	6
合計	18

白衣授与・Student Doctor 認定証授与式

医療教育学分野　教授　赤　池　雅　史

令和４年1月11日、大塚講堂にて、医学科４年生120名を対象に、白衣授与・Student Doctor 認定証授与式が行われました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のために、三密を避けて、参加は体調確認の上、学生および学内関係者に限定し、記念撮影の時以外は常時マスク着用で実施しました。第一部では赤池雅史医学部長、香美祥二病院長、荒瀬誠治青藍会会長からのご挨拶と杉本花奈乃さんの学生代表宣誓の後、代表である林恒太朗さんをはじめ学生ひとりずつに徳島大学病院のエンブレムが肩に刺繍された白衣と全国医学部長病院長会議発行の Student Doctor 認定証が授与されました。第二部ではキャリア形成教育として、脇野修先生（腎臓内科学分野教授）と大藤純先生（救急集中治療医学分野教授）のご講演が行われました。

臨床実習前教育を修了し、共用試験医学系 CBT（コンピュータを用いて知識を評価する試験）と OSCE（シミュレーションによる臨床能力試験）に合格した医学生は、Student Doctor として、４年次１月から卒業までに65週間のクリニカル・クラークシップ（診療参加型臨床実習）を履修します。令和５年度からは Student Doctor が法的に位置付けられることになっており、診療参加型臨床実習での医行為の実施促進が期待されています。最後になりましたが、この度、学生に授与された白衣は青藍会からのご寄贈によるものであり、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

◆◆◆　受賞者紹介　◆◆◆

令和３年度岡奨学賞

清　水　真祐子（疾患病理学分野　助教）
「非アルコール性脂肪肝炎の病態解明および予防・治療法の開発」

西　山　祐　一（医用理工学分野　助教）
「正常組織選択的に作用する p53 制御性放射線防護剤の開発」

※医学部および先端酵素学研究所において、基礎医学における研究成果が顕著な人を表彰する賞です。

第47回徳島医学会賞

岡　田　朝　美（徳島大学病院小児科）
「循環血中遊離DNAを用いた膵β細胞傷害の新規検出法の確立」

元　木　由　美（博愛記念病院）
「COVID-19治療後患者に対する廃用リハビリテーションの重要性」

※第263回徳島医学会学術集会（令和3年8月29日）において受賞者が選考されました。

第26回若手奨励賞

西　條　早　希（徳島大学病院卒後臨床研修センター）
「当院における先天性血友病患者（成人例）の実態調査～移行期医療の重要性～」

吉　川　紘　平（徳島大学病院卒後臨床研修センター）
「TIA 様発作を契機に診断されたインスリノーマの一例」

※第263回徳島医学会学術集会（令和3年8月29日）において受賞者が選考されました。

医学部ベストティーチャー・オブ・ザ・イヤー2021

医学科

桑　野　由　紀
（遺伝情報医学分野　講師）

志　内　哲　也
（統合生理学分野　准教授）

下　北　英　輔
（顕微解剖学分野　助教）

医科栄養学科

中　本　晶　子
（実践栄養学分野　助教）

保健学科

佐々木　幹　治
（放射線治療学分野　助教）

※学生の投票に基づき選考される賞です。

医学部医学科ベストティーチャー・オブ・ザ・イヤー・イン・クリニカル・クラークシップ2021

医学科

上　野　義　豊（救急集中治療部　助教）
河　北　貴　子（地域産婦人科診療部　特任准教授）
倉　橋　清　衛（血液・内分泌代謝内科学分野　助教）
中　野　勇　希（救急集中治療部　医員）

※学生の投票に基づき選考される賞です。

令和３年度医学部優秀教育賞

医学優秀教育賞

森　根　裕　二
（消化器・移植外科学分野 准教授）

栄養学優秀教育賞

黒　田　雅　士
（代謝栄養学分野　特任助教）

保健学優秀教育賞

飯　藤　大　和
（看護技術学分野　助教）

※医学科、医科栄養学科、保健学科の教育および学生指導に貢献した人を表彰する賞です。

◆◆◆　受賞者紹介　◆◆◆

令和３年度　中田賞

第68回医学科卒業生（令和4年3月卒業）
坂　尾　祐佳子

この度は、名誉ある中田賞をいただき大変光栄に存じます。新型コロナウイルスの感染拡大という大変な状況が続くなかで、学びを継続できるようご尽力いただいた先生方や職員の皆様、共に支え合った友人、温かく見守ってくれた家族、本当に多くの方々に支えられ、充実した６年間を送ることができました。心より感謝申し上げます。この受賞を励みに、医師として社会に貢献できるよう今後も精進してまいります。

令和３年度　児玉賞

第5回医科栄養学科卒業生（令和4年3月卒業）
鈴　木　由　紀

この度は、名誉ある児玉賞をいただき大変光栄に存じます。温かくご指導くださった先生方や先輩方、共に支え合った友人、そして、どんな時も優しく見守ってくれた家族の支えがあり、非常に充実した大学生活を送ることができました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。今後もこの賞を励みとし、私の理想とする社会に貢献できる管理栄養士を目指し、日々精進してまいりたいと思います。

令和３年度　看護学専攻賞

第17回看護学専攻卒業生（令和4年3月卒業）
大　原　　栞

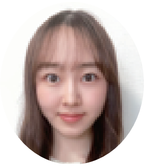
この度は、栄誉ある看護学専攻賞をいただき大変光栄に思います。この賞をいただけたのは、支えてくださった先生方や職員の皆様、共に努力し助け合った友人、いつでも味方でいてくれた家族のおかげです。心より感謝申し上げます。コロナ禍ではありましたが、その中でも大変充実した大学生活を送ることができ、成長を感じられた4年間でした。今後もこの賞を励みとし、努力を重ね、社会に貢献できるよう精進してまいります。

令和３年度　放射線技術科学専攻賞

第17回放射線技術科学専攻卒業生（令和4年3月卒業）
植　木　勇　弥

この度は、名誉ある放射線技術科学専攻賞をいただき身に余る光栄です。これまでの４年間の努力が間違いなかったと自分に自信を持つことができました。また、コロナ禍での学校生活を余儀なくされましたが、そのような中でも充実した講義、実習等を懇切丁寧にご教授いただきました先生方をはじめ、日ごろからご愛顧いただきました皆様方にはこの場をお借りして、深く感謝申し上げます。今後もこの受賞を励みに、診療放射線技師として医療に貢献できるよう、日々精進してまいります。

令和３年度　検査技術科学専攻賞



第17回検査技術科学専攻卒業生（令和4年3月卒業）
東　　野　乃

この度は、名誉ある検査技術科学専攻賞をいただき大変光栄に思います。この賞をいただけたのは、ご指導してくださった先生方、苦楽を共にした友人、見守ってくれた家族の支えのおかげです。お世話になりました皆様に心より感謝申し上げます。コロナ禍で制限もありましたが、その中でも様々な経験をさせていただき、大きく成長できた4年間でした。この受賞を励みに、今後も感謝の気持ちを忘れず、学び続ける姿勢を持って日々精進してまいります。

令和３年度　医学部優秀学生賞

【学生】

医学科6年次	木内華由
医学科3年次	中井洸我
医科学教育部博士課程4年次	杉浦宏祐
医科栄養学科4年次	田中咲衣
保健学科看護学専攻2年次	桝本恭加
保健学科看護学専攻2年次	堤　菜々子
保健学科放射線技術科学専攻4年次	山本さくら
保健学科検査技術科学専攻4年次	松田修己
保健科学教育部博士前期課程保健学専攻2年次	山下　奏

【学生団体】
保健学科看護学専攻：徳大看護災害支援ボランティアチーム
（代表・山畠　久実　外6名）

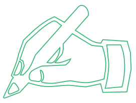
※各種活動等において顕著な功績があった学生又は学生団体を表彰する賞です。
※年次は選考時のものです。

徳島大学は、学校教育法第109条第２項の規定による「大学機関別認証評価」を受け、「大学評価基準を満たしている」と認定されました。
（令和２年３月24日）

●認証評価機関
独立行政法人大学改革支援・学位授与機構

●認証期間　７年間

編集後記



冬季オリンピックが北京で開催されました。私達が目にするのはオリンピックの舞台ですが、そこに至るまでの選手達の日々の努力を目にすることはありません。成果を求められることもありますし、結果を出すことも大事です。しかし、そのためにどれだけ本気で取り組めたか、努力できたか、その過程も大切です。このことが次に繋げるための貴重な経験となります。特に、学生生活の中では、この過程こそがより重要だと思います。新入生の皆さんには、勉学（これが主ですが）以外にも何か目標を持って色々なことにチャレンジしてもらいたいと思います。目標を達成するまでの過程を頑張り、楽しみ、次の舞台に進んでもらいたいと思います。
（医学部広報委員会　副委員長　野間口雅子）

発　行　徳島大学医学部　　編　集　医学部広報委員会
広報委員　廣瀬　隼（委員長）、野間口雅子、勢井宏義、橋本一郎、濵田康弘、友竹正人、木虎　章、家氏敬人、勢川怜花、野中　蓮

本誌へのご意見・ご要望は、（総務係）E-mail：isysoumu1k@tokushima-u.ac.jp までお願いします。
なお、写真は執筆者各位の提供により掲載しています。
Tel：088-633-9116　Fax：088-633-9028　URL https://www.tokushima-u.ac.jp/med/
医学部ホームページはこちらから ➡